

H30年度 大明小学校の教育についてのアンケートの集計結果(保護者対象) 2学期

調査対象人数 PTA学校委員48名 提出者48名

A=そう思う B=ほぼそう思う C=あまりそう思わない D=そう思わない

	評価項目	A	B	C	D
1	学校は教育目標や具体的行動目標（あいさつができる子供・進んで学習ができる子供・落ち着いた生活ができる子供）を保護者に伝えている。	19	29	0	0
		39.6	60.4	0.0	0.0
2	学校は特色ある教育活動を行っている。（大明小学校の特色ある活動：①地域と連携した教育②地域文化（大明小ばやし）の伝承 ③縦割り班活動を中心とした児童会活動）④小笠原礼法の学習など	29	18	1	0
		60.4	37.5	2.1	0
3	学校は、子供が学習で努力したことを認めてくれている。	26	22	0	0
		54.1	45.9	0	0
4	学校では、子供の長所や個性を理解し、教育に当たっている。	16	30	2	0
		33.3	62.5	4.2	0
5	学校は、子供についての悩みや心配事に適切に対応してくれる。	17	25	5	1
		35.4	52.1	10.4	2.1
6	学校からの文書や連絡等は適切である。	27	19	2	0
		56.3	39.5	4.2	0
7	学校は、教育活動に適した施設・設備が整っている。	28	18	2	0
		58.3	37.5	4.2	0
8	学校は、地震・災害・不審者対策をよく示している。	33	15	0	0
		68.8	31.2	0	0
9	子供は、学校に行くことを楽しみにしている。	25	21	2	0
		52.1	43.7	4.2	0
10	子供は、学校生活の中で、（あいさつができる子供）（進んで学習ができる子供）（落ち着いた生活ができる子供）など、豊かな心、生き方について学んでいる。	18	29	1	0
		37.5	60.4	2.1	0.0
11	子供は、授業を十分に理解している。	14	30	4	0
		29.2	62.5	8.3	0
12	子供は、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣が身についている。	21	20	7	0
		43.8	41.7	14.5	0
13	子供に携帯電話を持たせていますか。	13			35
		27.1			72.9
14	子供に携帯電話を持たせている場合、子供とルール作りをしていますか。	9			
		69.2			
15	子供達は、地域の行事へ積極的に参加している。	29	12	6	1
		60.4	25.0	12.5	2.1
16	子供達は、家庭や地域の中で、あいさつをしている。	20	22	6	0
		41.7	45.8	12.5	0
17	家庭と学校は、連絡や意思の疎通が図られている。	17	29	2	0
		35.4	60.4	4.2	0.0

保護者・地域と学校の連携について【自由記述】

<その他>	
①	様々な活動に先生方が力を入れて御指導していただいていると思います
②	文書やメールで丁寧に生活指導や不審者情報についてお知らせしてくれるので、とてもありがたいです。
③	地域で子どもクラブの役員をしていますが、習い事をしている児童が多く、特にスポーツクラブに入っている子供は地域の行事に出席することが少ないと感じています。

参考：保護者アンケート結果【2学期の結果です。ご覧ください】

<全般考察>

全体的には、17問の設問中（No, 13とNO, 14は、携帯電話の所有についてでした）、全ての設問についてA評価及びB評価の肯定的評価が85%以上でした。今回の調査は、11の設問が90%以上になりました。また、今回の調査では、一番低い数値は、85.5パーセントでした。大明小学校の教育活動について保護者の御理解・御協力、地域の方々の学校支援ボランティアや安全パトロールなどいろいろな面での御支援をしていただいたことは、誠に心強く、それが今回の結果にもつながったものと、心より感謝申し上げます。

1学期の調査結果と比較して、設問1・3・8は肯定的評価がととも増え、その数値は100%に達しました。これからも、教育目標や、教育方針を正確に家庭に伝えて、学校と各家庭での子供たちへの指導の連携を強め、さらに大きな成果を上げていきます。そして、学校と家庭・地域が連携することが、子供達の学力向上につながっていくと思います。

また、2学期の調査でも、1学期と同じように、C評価及びD評価の否定的評価が15%以上の項目が1つもありませんでした。しかし、設問14「子供は、早寝・早起き・朝ごはんの基本的生活習慣が身に付いている」が14.5%・設問15「子供達は、地域の行事に積極的に参加している」が12.5%・設問16「子供達は、家庭や地域の中で、あいさつをしている」が12.5%・この3つの項目については、状況を分析し、子供の理解・地域行事への参加を促していきます。そのためには、保護者との連携を密にしていくことが何より大切であります。今後とも御支援・御協力の程よろしくお願い申し上げます。

<学校教育・学校経営・学校運営について（設問1～8）>

考察1

設問1から設問8については、「学校教育・学校経営・学校運営」に関する設問です。

8項目中、7つの項目が95%以上の高い肯定的評価をいただきました。この結果の分析としては、普段の授業を大切に、日々学力向上に努力していること。また、地域文化の伝承（大明小ばやし）は、今年も5年生から4年生への演奏や指導や引継ぎを行いました。11月に行われた文化発表会での演奏も素晴らしかったです。また、児童会役員を中心として、6年生が縦割り集団活動、委員会活動など、学校の顔（リーダー）として活躍してくれました。2学期以降、運動会や文化発表会で、自分の役割を実践して、自己肯定感も向上したと思います。

<今後について>

各学級担任は、Q-U検査や日常の学級の観察で学級の傾向を分析しながら、児童の普段の様子を今まで以上にきめ細かく観察し、未然防止・早期発見、早期解決に取り組んでいきます。そして、些細な変化がある場合にも、保護者との連携・連絡等を丁寧にしていき、いじめや不登校につながらないようにしていきます。また、「不審者情報を的確にメールで伝えてくれることが、とてもありがたく安心して生活が送れます。」というご意見も頂きました。これからも、きめ細かい学校からの情報提供を行っていきたいと思います。

<子供の様子について（設問9～17）>

考察2

設問9～17については、子供達に道徳性や社会性が身についているかどうかを尋ねた質問です。設問9「子供は学校に行くことを楽しみにしている」について、A評価及びB評価の肯定的評価が95.8%でした。1学期は93.7%でしたので、2学期は2.1%上昇しました。2学期の大きな行事（運動会・文化発表会）に積極的に取り組んでくれた証拠だと思います。そして、学力向上や規律の確保ためには、子供達の学校への期待感が必要です。これからも、日々の授業の改善や行事の内容を精査し、子供達の自己肯定感を高める取り組みをしていきたいと考えています。次に、設問12「子供は（早寝・早起き・朝ごはん）の基本的生活習慣が身についている」のA評価及びB評価の肯定的評価が85.5%で1学期の87.5%から、2.0%数値が落ちています。児童が授業に集中できるためには、睡眠と栄養、また規則正しい生活習慣が大変重要な要素です。これからも、学校と家庭とで連携して、子供達の心身の発達に努力していく必要があると感じます。

<今後について>

設問5「学校は子供についての悩みや心配事に適切に対応してくれる」のA評価及びB評価の肯定的評価のポイントをもっと上げていけるように、全職員がチームとしてまとまって子ども達の姿に理解と観察をしていく必要があります。そして、今回の調査ではA評価及びB評価の肯定的評価のポイントが87.5%でしたので、次からは90%以上を目指していく必要があります。最後に各学年や学級でも、もっと「早寝・早起き・朝ごはん」や生活習慣を身に付けさせる取り組みに積極的に取り組む必要があります。

考察3

設問13「子供に携帯電話を持たせていますか」という設問において、携帯電話を持たせている割合は、今回は27.1%でした。今後この数値は、上昇していくと考えられます。携帯電話の使用については、家庭でルールをきちんと子供と話し合っ決めて決めることが、とても大切な事だと感じます。

<今後について>

子供達が、携帯電話の使用を誤ると、とても危険な場面に遭遇してしまう可能性があります。学校と家庭で連携して、子供達に正しい携帯電話の使い方を教えていかなければなりません。家庭では、子供とルール作りを進める必要があります。また、大明小学校では、毎年、高学年生に6月に（**防犯教室**）を企画して、正しい携帯電話の使い方を指導しています。来年度も継続して実施します。